

# OAMP の削除重複した場所情報

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

## 概要

この資料は Cisco カスタマ 音声門脈 ( CVP ) オペレーション、管理、メンテナンスおよびプロビジョニング ( OAMP ) から重複した場所を削除するためにステップを記述したものです。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- CVP
- 構造化照会言語 ( SQL )

稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP 9.x 以上に
- UCCE 9.x 以上に

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 問題

OAMP の重複した場所は、それ 2 人のサブスクライバからインポートされて得、無効な物を削除できません。

## 解決策

それはツーステップ プロセスです:

ステップ 1. コール サーバから情報を取除いて下さい展開されるこれらの場所がある。  
ステップ 2. OAMP から情報を取除いて下さい。

コール サーバに関しては:

ステップ 1. コール サーバサービスをダウンさせて下さい。  
ステップ 2. **location.properties** ファイルのバックアップを奪取し、<CVP\_HOME>/conf/から削除して下さい。

OAMP に関しては:

ステップ 1. OpsConsole サービスをダウンさせて下さい。  
ステップ 2. <CVP\_HOME>/bin/sqledit.bat を実行して下さい。  
ステップ 3. 他その後でこれらの SQL コマンド 1 を実行して下さい ( これらは OAMP の LBCAC 情報のトレースを取除きます )。上テスト ボックスの文の入力によってこれをし、キーを『Enter』を押すことができます。ステータスバーで ( ウィンドウの下部ので ) 文を実行した結果が-成功 メッセージが表示されるために理想的に表示されます。

**LBCAC\_ASSOC\_DEVICE\_MAP** からの削除

**LBCAC\_SYNC\_STATUS** からの削除

**TEMP\_LBCACCONFIGDATA** からの削除

**LBCACCONFIGDATA** からの削除

上記のステップが実行されれば、コール開始 サーバサービスおよび OAMP サービス。

行って下さい OAMP に-システムは > **Locations** ページ位置を再同期化し。

Locations ページのコール Server タブから、位置をサーバを呼出すためにコピーするように **Save&Deploy** をして下さい。